リノベーションまちづくりデザイナーの養成

文部科学省選定：現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム

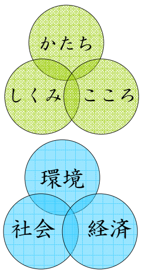
日本で最初の大規模ニュータウンである「千里ニュータウン」は、完成後40年近くが経過し、今では「千里オールドタウン」と揶揄されるように、様々な問題が生じている。本取組では、千里ニュータウンのリノベーション（再生･刷新）の実現を目指し、既成市街地の活性化をめざしたまちづくりに総合的に貢献でき、市民に信頼される人材の育成を目的とした教育プログラムの開発を目的とする。

主な教育目標

①まちづくりに必要な「かたち」「こころ」「しくみ」の3要素に関する理解とこれらの要素に関するデザイン技術の修得

②具体的な既成市街地を対象にした、持続可能なまちづくりのためのデザイン技術の統合力、実践力の養成

③地域社会における多様な人々の存在に対する理解とコミュニケーション力の向上、ならびにまちづくり活動に対する参加・参画意欲の向上



授業の特色：PBL（Project Based Learning）

教育目標の受講生への定着をはかる際、本プロジェクトでは、つぎの地域固有の重要課題の抽出を行い、持続可能なまちづくりを指向した総合的な地域デザインを、PBL(Project Based Learning)方式により実施した。

具体的には次の3つのテーマを取り上げプロジェクト式の授業を行った

- ⇒福祉のまちづくりプロジェクト
- ⇒環境共生まちづくりプロジェクト
- ⇒コミュニティ活性化プロジェクト

中でも当研究室では「福祉のまちづくりプロジェクト」についてはプロジェクト運営についても担当した

福祉のまちづくりプロジェクト

ねらい

高齢者・障害者をはじめすべての人々が、安全に安心して快適に暮らすことができるとともに社会参加が活発になるまちづくりを実現するため、交通系と建物系の連続したバリアフリー化方策および交通事故防止等の安全化方策をかたち、しくみ、こころの面から検討する。ことを目標とした。

⇩

授業内容

行政、交通事業者、コンサルタント、障害当事者の方々の協力を得て、交通バリアフリー基本構想策定の<u>シミュレーション</u>を題材とした授業を実施。

プロジェクトのながれ

交通バリアフリー法の趣旨・仕組みの講義

↓

実際に現地を点検する。現地の問題点および評価できる点の本質について、アドバイザーの助言を得ながら理解を深める。

↓

問題点に関する意見をまとめ、課題解決に向けての問題抽出を行う。

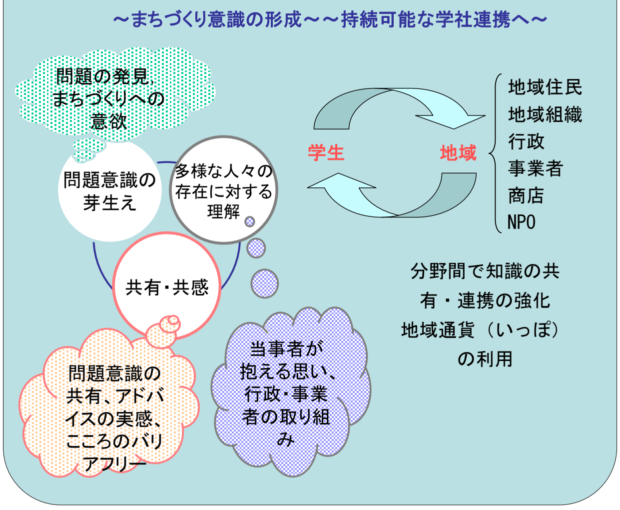
↓

抽出した問題について、交通バリアフリー法の基本的枠組・技術基準、地区の状況、行政機関の状況（財政、関連事業等）、事業者の状況（財政、技術水準等）、最近の技術動向等を考慮して、取組みの方法（課題解決の内容等）をアドバイザーの助言に基づき検討する。

↓

課題別取組み方法の検討結果に基づき課題解決のための具体的な方法を提案する。

成果：学生による提案



リノベーションまちづくりデザイナーの養成HP
http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/plan/gp/index.html

地球総合工学専攻 社会基盤工学コース 交通システム学領域